

薬物問題に係る国際的な動向
 (4月18日, 薬物乱用対策推進課長会議)

外務省総合外交政策局
 国際安全・治安対策協力室

1 近年の国際動向

- ・ コカ葉咀嚼の合法化, 条約留保付き再加入 (ボリビア)
- ・ 大麻娯楽使用の合法化 (米ワシントン州・コロラド州, ウルグアイ)
- ・ 薬物使用者への非処罰化
- ・ 2016年国連麻薬特別総会 (UNGASS) の開催

2 麻薬委員会の議論 (2014年3月, 於: ウィーン)

(1) 主な論点

- ・ ハームリダクション施策, 薬物事犯への死刑適用反対, 治療重視 (EU)
- ・ 薬物使用者の非処罰化 (ポルトガル, チェコ, オーストリア等)
- ・ 大麻合法化 (日本やINCB等は懸念を表明)
- ・ 麻薬関連条約に基づく現行国際枠組みの見直し (南米諸国)
- ・ メタンフェタミン及びNPS等, 合成薬物問題に対する国際協力

(2) その他

- ・ 我が国は, UNODCとメタンフェタミン関連イベントを共催。また, NPS及び代替開発に関する決議2本の共同提案国入り。

3 今後

- ・ 2016年UNGASS開催に向けた国際議論の高まり
 - ※ 2016年は日本がG8 (G7) 議長国を務めるタイミング
 - ー 処罰/非処罰, 収監/非収監, 治療, リハビリ
 - ー 既存の国際枠組み/新条約の締結 (新たな国際基準)
- ・ 大麻合法化の拡散 (南米)
- ・ アフガニスタン薬物問題の深刻化 (2014年ISAF撤収)
- ・ メタンフェタミン対策, NPS対策